

清水谷・古屋谷・野・納年・北方・市・瀬・荒山・四坊・琴坂二俣の五十四ヶ村を含んで居た。

コカタ 小方 藩政時代に小方非人・小方藤内などの場合に用ひられる小方は、非人頭若しくは藤内頭配下の非人・藤内を意味する。親方に對する子方の借字であらう。

コカタツキ 小肩衝 加賀藩の老臣横山氏が世襲家珍とした茶入。初め千利休之を激賞して小肩衝と名づけたのを、前田利家の購入したもので、豊臣秀吉の懇望した折にも惜しんで辭した。後利長が横山長知をして太田長知を弑せしめた時、その賞として之を與へた。

コカチノナギナタ 小鍛冶の長刀 慶長六年前田利常の夫人天徳院の來嫁した時持參の道具で、徳川氏に傳へられたものであつた。俗に志津の長刀とも稱したが、實は三條宗近の作であつたといふ。又それを靜の長刀といふたのは、志津から轉じたものらしいといはれる。

ゴガツデン 五月田 河北郡庄(部落名)の内の小字。

コガネモリ 小金森 鹿島郡高島庄に屬する部落。廻國雜記に、『小金森といへる所にしげらく休て、陸奥の山に花さくこがねもり此里までも種やまきけん。』とある。

コカハ 小川 鳳至郡横地の内の小字。  
コカハチ 小川内 鹿島郡山崎の内の小字。

コガハチユウザエモン 小川忠左衛門 前田利家に仕へて百石を領した。子孫相繼いで藩に仕へる。  
コガハテラ 粉川寺 鳳至郡横地に在つて、

能登三十三番札所中の三十一番と稱せられる。能登名跡志に、『此川縁(河原田川)一里上に粉川といふ所あり。紀州粉川寺の本尊同木同作の觀音の靈像あり。當國三十三番の札所にて、堂の中に大像の仁王尊の古佛あり。其外古佛多し。今も靈驗あらた也。毎年元朝には糟の占とて、酒の糟を苞にして、此川の淵へ流す也。とまれるを吉とす。流るゝを凶とするの占也。』と記する。

ゴカフ 御家譜 一册。享保九年正月青地禮幹の著す所で、漢文を以て書かれて居る。巻首に菅赤相傳略があり、前田氏の系譜は、利家の父休岳公利春から天珠公重靖に至り、三支藩以下宗家から分岐したのもその間に綴られてゐる。又附録として、藩臣前田長種の家系譜を附したのは、長種の室が利家の女幸姫であつた爲であり、藩臣前田利忠の家譜は、利忠の母が利家の女磨阿姫であつた爲であり、その他淺野幸長・保科正經・前田季明・前田直立・前田右馬允等の家譜が載せられてゐる。本書は世に青地本の御家譜と呼ばれた。

コカブト 小甲 鳳至郡甲の内の小字。  
コガマ 小釜 羽咋郡里本江の内の小字。  
コガミ 小上 石川郡山島郷に屬する部落。

ゴカムラ 五ヶ村 藩政の時、十村の裁許する組内の五ヶ村を聯合して、通常五ヶ村又は五ヶ村組合といひ、事故の稍重大なものがある時、又は諸村互に協力を要するものがある時に、五ヶ村の肝煎が集合して之を協議した。但しその名は五ヶ村であるが、便宜によつて四ヶ村又は六ヶ村であることもあつた。

ゴカヤマ 五ヶ山 鳳至郡西安寺の部落北方の山。高さ一六七米。  
コガラスイシ 小烏石 石川郡國見から産する石材。一に黒御影とも稱する。黒色輝石安山岩の熔岩で、硬く脆い。その断面は黒色貝殻状をなし、白色玻璃光澤を有する多数の小形長石を介在せしめる。  
コガンシユンシユウ 虎巖俊嘯 石川郡曹洞宗大乘寺五十七代の住持。越後の人、石崎氏。同國宗正寺に出家し、文化十二年相模西光寺に首職となり、文政三年越後福嚴寺、四年總持寺に移り、五年城州永源菴の開祖となつた。後丹州神宮寺・但馬豐樂寺・越後福昌寺等に轉住し、嘉永元年大乘寺に入り、一住三年、越後米仙庵に退休し、五年十二月三日六十八歳を以て寂した。

ゴガンノジンジ 御願神事 江沼郡菅生石部神社の神事で、青年等當日氏子から寄進した數百本の竹を、社殿又は大地に打ちつけて削り、終りて大綱を曳き廻り、大聖寺川に投ずる。社傳に、天武天皇の御願で初つた賀祚長久國家安全の祈禱であるといふ。今二月十日に行はれる。

ゴガンノジンジ 御願神事 石川郡白山比咩神社で古へ四月初午の日(三年あればは申午)に行つた大祭を御願神事又は午祭といふた。社傳にこの神事は寛平八年四月から初つて、菅公が梅枝を献供して祈願したからこの名があるといひ、この日梅枝糕とて、長き團子に五きだを付けて胡麻の油で揚げたのを供へた。同神社にて又十一月午日の大祭も、同じく御願神事といはれた。今の五月六日の例祭は是で、梅枝糕も供へる。

コギクシユウ 小ぎくしふ 一册。金澤の俳人宇野柳菴の附合二卷、及びその時代のものゝ句寄である。金澤集雅堂版。刊行年月は不詳だが、壬戌の夏の俳諧があるから、文久二年であらう。  
コキユウガタニ 鼓弓ヶ谷 能美郡杖の部落南方の溪谷で、その水杖川となり、大日川に注ぐ。  
コキユウダキ 胡弓瀧 能美郡杖の地内で、部落から南方二〇軒を隔て、杖川の水源に在る。高さ一〇米。流音によつて名づける。  
コキヨウジ 古郷寺 河北郡湯涌郷に屬する部落。  
コキヨコウ 故墟考 ↓エツトガサンシユウシ 越登賀三州志。  
コクウソウヤマ 虚空藏山 能美郡和氣にあるものは、和氣嶽の前山で、地方人之をコクゾウ山ともコクゾウ塚ともいひ、遺址はないが中川庄左衛門、荒川市助の居城であるとしてゐる。又隣村の館にも虚空藏山があり、初め金剛寺幸松が居り、後に荒山三郎左衛門・永山治部が居た城跡であるとする。これらを又國造山として説を爲すものもあるが信じられぬ。

コクウンジ 國運寺 金澤卯辰感應寺の南隣に在つた。臨濟宗に屬し、山號は金澤山。元和元年東院和尚伊勢より來り、大豆田河原に一寺を建立し、寛文十一年觀音山下に移つたが、洪水の爲流失し、元禄八年卯辰に轉じ、寶曆中無住となつた爲未刹瑞光寺に合併せられたといふ。  
ゴクオウジ 極應寺 羽咋郡火打谷にあつて、眞宗東派に屬する。